

研究計画概要

助成年度・種別	2016年度 一般研究助成
研究代表者	相澤 仁
所 属	大分大学（2016年3月31日までは国立武蔵野学院 院長）
研究テーマ	児童自立支援施設における「生活場面面接」プログラムの作成と職員研修の効果
研究計画概要	<p>児童自立支援施設に入所する子どもの多くは、情緒・行動上の問題に加えて虐待やネグレクトなどの逆境的な体験の累積がある。そのため職員が指導上留意している子どもの割合は高く、施設職員も支援に困難を抱えている現状がある。しかしながら、児童自立支援施設において「支援の方法や質」に関する研究は多いとはいえない。本研究では現場における課題を解決するため、児童自立支援施設で取り込まれながらも研究されることが少なかった「生活場面面接」に着目した。</p> <p>本研究の目的は、児童自立支援施設に入所する子どもの強みや情緒・行動上の問題とその背景に働きかける「生活場面面接」に関するプログラムの作成（研修を中心として）と職員研修の実施およびその効果を検証するものである。具体的には以下の4点である。①「生活場面面接」の研修プログラムを作成すること、②①に基づく職員研修を実施すること（研修のアウトカム評価）、③①②に基づく支援プロセスの評価を行うこと、④支援の効果を明らかにすることである。</p> <p>本研究は、これらの研究を通して、日々実践現場で支援を行う職員と子どもの育ちに貢献するものである。</p>
選考委員からのコメント	<p>児童自立支援施設国立武蔵野学院の院長自らチームを組んでの調査研究である。国立武蔵野学院は、全国の児童自立支援施設を昭和の時代から現在に至るまで常にリードしてきた存在である。その学院が総力で調査研究するということで、大いに期待し得る。いかなる成果がもたらされるか楽しみである。</p>